

中にこのスピーチのテーマになる語句が入ることを示しています。また、問い(2)ではパラグラフの最初の部分、つまりトピック・センテンスが問われていることがわかります。問い(3)では語順が問われています。つまりこの大問5では、問い(3)を除けば文章全体のテーマと各パラグラフの要点が問われているということがわかります。そこで、パラグラフ・リーディングの知識が生きてくることとなります。

手順2：英文全体の構造からテーマを探る

通常ならば、各パラグラフの最初の文をつないでいけば、全文の概要がわかるはずなのに、この文章では逆に各パラグラフの最初の部分が空欄になっていて、その空欄を補わせる問題が設けられています。つまり、文章全体からトピック・センテンスを考えさせる問題となっているのです。

そこで、発想を転換して文章全体の構造を眺めてみると、以下のようになっていることがわかります。

〔英文全体の構造をつかむ〕

will be more important in the 21st century. (第1パラグラフ)

I think we have to remember three things. (第2パラグラフ)

First, (①) and try to understand their people and cultures.
(第3パラグラフ)

Second, (②). (第4パラグラフ)

Finally, I think (③). (第5パラグラフ)

If we keep these things in mind and try to do our best, the world will (place, to, better, be, a, live). (第6パラグラフ)

文章全体を眺めてみると、この英文は表面上は6つのパラグラフ構成になっていますが、明らかに「締めくくり」的な働きをしている第6パラグラフを除けば、第2パラグラフだけが異様に短く、(I think we have to remember three things. という一文のみ) 実質的には5つのパラグラフで構成されているような印象を受けます。次に第3～第5パラグラフを見てみると、いずれも同じような形 (First, Second, Finally) で始まっていることがわかります。これらの語 (First, Second, Finally) は同じ程度